

利用案内

□開館時間

10:00—17:00

□企画展観覧時間

10:00—17:00(入場は開場時間の30分前まで)

□休館日

月曜日(月曜日が休日に当たるときは、その翌平日)
年末年始(12月29日—1月3日)
※展示替等のため臨時休館することがあります

□入館料

無料

□企画展観覧料

展覧会ごとに定めます(下記の方は無料でご覧いただけます)

◎小学生未満の方。◎市内在住又は在学の小中学生および高校生。◎市内に住所を有する65歳以上の方。◎身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方とその介添者1名。(碧南市ジュニアパスポート、生徒手帳、運転免許証、各手帳等をご提示ください)

交通案内

JR
名古屋

名鉄
名古屋

刈谷

碧南

17分

20分

6分

28分

至名古屋

至衣浦大橋

至名古屋

至衣浦トンネル

碧南海浜水族館
臨海体育館

羽根町

大浜陣屋
広場

碧南駅西

碧南駅

林山寺
西門方寺

臨海公園
グランド

大浜漁港

港本町

港橋北

大浜小北

音羽町

□名鉄線ご利用の場合 名鉄本線「知立駅」乗換、三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩約6分

□JR東海道線と名鉄線ご利用の場合 JR「刈谷駅」乗換、名鉄三河線「碧南駅」下車、南西方向へ徒歩約6分

□知多半島道路・阿久比インターから車で20分(衣浦大橋を渡って右折)
※駐車台数に限りがございますので、公共交通機関等をご利用ください。

碧南市藤井達吉現代美術館

HEKINAN CITY TATSUKICHI FUJII MUSEUM OF CONTEMPORARY ART

〒447-0847 愛知県碧南市音羽町一丁目1番地
TEL: 0566-48-6602 FAX: 0566-48-6603
Email: museum@city.hekinan.lg.jp
URL: https://www.city.hekinan.lg.jp/museum/

Official
Homepage

Official
Instagram

共催展

3月19日[火]—3月31日[日] 無料 展示室1・2
第7回碧南市民アンデパンダン展
自由出品・無審査のもと、市民の皆さんから募集した作品の展覧会。

教育普及その他の展覧会

11月25日[土]—12月10日[日] 無料 多目的室B
野外彫刻絵画コンテスト入賞作品展

3月1日[金]—3月31日[日] 無料 多目的室B
るるる展
見る、知る、やってみる展覧会。

美術館ワークショップ

絵具遊びや工作などを体験できる小学生対象のプログラムを毎月開催。親子や中学生以上を対象としたものもあります。詳細はSNS、別刷りのチラシをご覧ください。

1

2

文化財・民俗資料展

地下1階情報コーナーでは、碧南の歴史と文化に関わる文化財や民俗資料を展示します。今年度は久しぶりのお披露目となる土人形や、徳川家康に関する伝承と文化財をご紹介します。

第1期:5月2日[火]—8月20日[日]
碧南の歴史: 碧南に伝わる家康の足跡

第2期:8月26日[土]—11月26日[日]
民俗資料: 蔵出し! 土人形

第3期:12月2日[土]—2月4日[日]
民俗資料: 食にまつわる道具たち

第4期:2月10日[土]—3月31日[日]
民俗資料: ぬくぬくほっこり〜温かいもの尽くし〜

三河大浜土人形《賤ヶ岳》1. 四方田但馬守/2. 加藤清正

コレクション展

特集テーマに沿って館蔵の藤井達吉作品を中心にコレクションをご紹介します。今年度は藤井による大正・昭和初期の優品から晩年の継色紙まで多彩な仕事をご覧ください。

第1期:5月2日[火]—6月25日[日] 展示室4
近代の藤井達吉
「碧い海の宝箱」展第4章として、藤井が中央で活躍した大正から昭和初期の優品を展示します。

第2-1期:7月7日[金]—8月27日[日] 展示室3
宮田二郎コレクション
83点に及ぶ同コレクションから、元永定正や篠原有司男などの版画作品を中心に展示します。

第2-2期:7月7日[金]—9月24日[日] 展示室4
涼しい絵画
藤井による水墨画や団扇などの工芸作品をはじめ、「涼」を感じられる作品を展示します。

第3期:9月30日[土]—12月17日[日] 展示室4
図案とデザイン
『創作染色図案集』、『路傍』など藤井が手掛けた図案やデザインの魅力をご紹介します。

第4期:12月22日[金]—3月31日[日] 展示室4
継色紙の世界
和紙や布、多彩な材料をコラージュして作られた藤井の継色紙作品とともに、新年を寿ぐ作品を展示します。

藤井達吉について

1881(明治14)年に愛知県碧海郡棚尾村(現・碧南市)に生まれた藤井達吉は、24歳のとき作家を志して上京。晩年は郷土の工芸復興に注力し、当地域でも創作活動を行うなどその生涯は芸術一筋でした。手がけた作品は、染織・七宝・金工・木工・陶磁など工芸全般から絵画・図案・書にいたるまで広範囲に及んでいます。特に工芸の分野では、芸術家として独自性を打ち出すことを提唱し、大正から昭和初期にかけての日本工芸界に一石を投じました。碧南では“郷土が生んだ近代工芸の先駆者”としてその功績を顕彰しています。

《大和路》

《継色紙(タ立に)》

《七宝木の葉文小箱》

「表紙作品 藤井達吉《大島風物図屏風》(右隻)1960年 碧南商工会議所蔵

碧南市藤井達吉現代美術館

Hekinan City Tatsukichi Fujii
Museum of Contemporary Art

Museum Schedule
2023.5 — 2024.3

「表紙作品 藤井達吉《大島風物図屏風》(右隻)1960年 碧南商工会議所蔵